

# 体験型経済教育施設

## 「Elem(エリム)」がオープン



### 新たな学びの場に

「Elem(エリム)」は、アラビア語で「教育」を意味します。

同施設は、カタール国が東日本大震災の被災地復興プロジェクトに対して、資金の援助を行う「カタールフレンド基金」の支援を受けて開設した教育施設です。エリムでは、子どもたちが社会や仕事の仕組みを学ぶため、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本が提供する体験型経済教育プログラムの「スチューデント・シティ(小学5年生向け)」と「ファイナンス・パーク(中学2年生向け)」を体験することができます。

両プログラムとも、学校の教育課程に位置付けられ

### 施設の概要

- ▼所在地 平字堂根町二丁目
- ▼階数 地上三階

た、正規の授業として実施します。

▼駐車台数 一九台(うち軽専用四台)

○お問い合わせ  
体験型経済教育施設  
☎84・8780

### オープニングセレモニーを開催

5月28日(水)に、カタール国のハリッド・ビン・モハメド・アルアティーヤ外務大臣をはじめ、市長や市の教育関係者、ブース出店社ら約100人が出席して、オープニングセレモニーが執り行われました。



アルアティーヤ外務大臣(中央)と歌を披露した平三小の児童たち

## 2F

### Student City スチューデント・シティ (小学5年生向け)

2階はスチューデント・シティの専用フロアで、市役所や企業のブースが設置され、実際の街並みの雰囲気が再現されています。

その中で児童たちは、学校の事前学習で学んだ知識を活用し、ものやサービスの売り手と買い手を同時に体験しながら、社会の成り立ちや経済の働き、人と仕事との関わりを肌身感覚で学習し、社会的自立力を身に付けます。

6月12日には平一小、13日には菊田小の5年生が体験学習を行い、児童たちはひとりの大人としてプログラムに取り組み、まちの成り立ちや責任ある市民意識を体験しました。

## 3F

### FINANCE Park ファイナンス・パーク (中学2年生向け)

3階はファイナンス・パーク専用フロアとなり、銀行や病院、飲食店など生活に密接した施設のブースが設置されています。

生徒たちは、事前学習で学んだ知識を活用し、月収・税金・健康保険・年金なども含めた、日常生活に必要なお金を自分で計算する体験を通して、生活設計(親が毎日やっている家計)を実際に学びます。



預金の振り替えや商品の契約、売上計算などを体験。たくさんのお客様がお店に来てくれるよう宣伝も工夫します

### プログラムを体験しました



菅波琴音さん(平一小)

市役所ブースで市長役をやりました。

大勢の人が書類のチェックをしてもらいに来るので、責任の重さや決められた時間の中で仕事をすることの大事さが分かりました。

お店屋さんごっこでも遊びでもなく「本当の仕事」を体験できました。

\*\*\*\*\*

スポーツ用品店の店長をして、みんなに指示を出したり、人が足りないところのサポートをしたりしました。

仕事が苦しいと感じることもあったけれど、チームワークで乗り切りました。

今回の体験で、社会には大事なものがたくさんあることを学びました。



鈴木彪馬さん(菊田小)